

胚操作動物関連業務委託 仕様書

1 目的

本件は横浜市大医学部動物実験センター内で胚操作技術を利用し、研究支援を行うことを目的とする。

2 委託実施場所

横浜市立大学福浦キャンパス動物実験センター内

3 期間

2023年4月1日～2024年3月31日

4 委託業務内容

実験動物の胚凍結、精子凍結と凍結胚からの個体作製、感染動物のクリーン化を主な作業とする。また、それに付随する作業も含む。

(1) 胚凍結、精子凍結

依頼者より凍結胚または、精子凍結の申込用紙提出を受けてから始める。

動物は主に遺伝子改変動物であるから、依頼者と十分な打ち合わせをして実施する。

(遺伝子改変動物使用許可が出ているか確認。必須事項)

胚凍結または、精子凍結計画書を作製し依頼者に提出する。

開始から凍結保存までには約1週間。

作業報告書を提出して作業終了とする。

(2) 凍結胚からの個体作製、動物クリーン化（体外受精からの個体作製含）

依頼者より胚からの個体作製、動物クリーン化の申込用紙提出を受けてから始めるものとする。

動物は主に遺伝子改変動物であるから、依頼者と十分な打ち合わせをして実施する。

(遺伝子改変動物使用許可が出ているか確認。必須事項)

計画書を作製し依頼者に提出する。

開始から動物引渡しまでには約2ヶ月～3ヶ月。

微生物モニタリング検査を実施のうえSPF動物であることを確認してから

依頼者に動物の引渡しをして、作業報告書を提出し作業終了とする。

(3) 付随業務事項

ガラスキャピラリー作製

胚移植用ガーゼ作製

精管結紮マウス作製、里親作製、

液体窒素定期的に補充等。

以上